

届出事項・添付書類編

[1] 大規模小売店舗届出書

様式第2 (第6条関係)

様式第3 (第7条関係)

※受理年月日	令和 年 月 日
※受理番号	
※備考	

変更届出書

令和8年3月16日

和歌山県知事 様

株式会社オークワ
代表取締役 大桑 弘嗣
和歌山県和歌山市中島 185 番地の 3

D CM株式会社
代表取締役 神谷 浩邦
東京都品川区南大井六丁目 22 番 7 号

大規模小売店舗立地法第6条第1項及び第2項の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

1 大規模小売店舗の名称及び所在地

名 称 : オー・ストリート橋本彩の台

所在地 : 和歌山県橋本市あやの台一丁目 50 番 3 外

2 変更した(しようとする)事項

(1) 大規模小売店舗を設置する者の氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては代表者の氏名

(変更前)

小売業を行う者		住所	変更する年月日 変更する理由
氏名(名称)	代表者		
株式会社オークワ	代表取締役 大桑 弘嗣	和歌山県和歌山市中島 185 番地の 3	
D CM株式会社	代表取締役 石黒 靖規	東京都品川区南大井 六丁目 22 番 7 号	

(変更後)

小売業を行う者		住所	変更する年月日 変更する理由
氏名(名称)	代表者		
株式会社オークワ	代表取締役 大桑 弘嗣	和歌山県和歌山市中島 185 番地の 3	
D CM株式会社	代表取締役 神谷 浩邦	東京都品川区南大井 六丁目 22 番 7 号	令和8年3月1日 代表者変更

(2) 大規模小売店舗において小売業を行う者の氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては代表者の氏名

(変更前)

小売業を行う者		住所	変更する年月日 変更する理由
氏名 (名称)	代表者		
株式会社オークワ	代表取締役 大桑 弘嗣	和歌山県和歌山市中島 185 番地の 3	
DCM株式会社	代表取締役 石黒 靖規	東京都品川区南大井 六丁目 22 番 7 号	
株式会社ユニクロ	代表取締役 柳井 正	山口県山口市佐山 10717 番地 1	
株式会社ビジョンメガネ	代表取締役 安東 晃一	大阪市西区南堀江 三丁目 14 番 12 号	
ウエルシア薬局株式会社	代表取締役 田中 純一	東京都千代田区外神田 二丁目 2 番 15 号	
株式会社サイバーリンクス	代表取締役 東 直樹	和歌山県和歌山市紀三井寺 849 番地の 3	

(変更後)

小売業を行う者		住所	変更する年月日 変更する理由
氏名 (名称)	代表者		
株式会社オークワ	代表取締役 大桑 弘嗣	和歌山県和歌山市中島 185 番地の 3	
DCM株式会社	代表取締役 神谷 浩邦	東京都品川区南大井 六丁目 22 番 7 号	令和 8 年 3 月 1 日 代表者変更
株式会社ユニクロ	代表取締役 柳井 正	山口県山口市佐山 10717 番地 1	
株式会社ビジョンメガネ	代表取締役 安東 晃一	大阪市西区南堀江 三丁目 14 番 12 号	
ウエルシア薬局株式会社	代表取締役 田中 純一	東京都千代田区外神田 二丁目 2 番 15 号	
株式会社サイバーリンクス	代表取締役 東 直樹	和歌山県和歌山市紀三井寺 849 番地の 3	
株式会社大創産業	代表取締役 矢野 靖二	広島県東広島市西条吉行東 一丁目 4 番 14 号	令和 7 年 12 月 12 日 新規出店

(3) 駐車場の位置及び収容台数

(変更前)

位置	収容台数
敷地中央 (添付図面 3-1 平面駐車場)	833 台**
敷地西側隔地 (添付図面 3-1 隔地駐車場①)	
敷地西側隔地 (添付図面 3-1 隔地駐車場②)	

※全体収容台数 875 台 (うち小売店舗用 833 台、従業員用 42 台)

(変更後)

位置	収容台数
敷地中央 (添付図面 3-3 平面駐車場)	453 台**

※全体収容台数 751 台 (うち小売店舗用 453 台、従業員用 298 台)

(4) 駐輪場の位置及び収容台数

(変更前)

位 置	収容台数
オークワ棟西側 (添付図面 3-1 駐輪場①)	73 台
DCM棟北側 (添付図面 3-1 駐輪場②)	134 台
アミューズ棟南東側 (添付図面 3-1 駐輪場③)	85 台
ビジョン棟西側・理美容棟南東側 (添付図面 3-1 駐輪場④)	46 台
合 計	338 台

(変更後)

位 置	収容台数
オークワ棟西側 (添付図面 3-3 駐輪場①)	14 台*
ユニクロ棟東側 (添付図面 3-3 駐輪場②)	
DCM棟北側 (添付図面 3-3 駐輪場③)	
ダイソー棟南東側 (添付図面 3-3 駐輪場④)	
ビジョン棟西側・理美容棟南東側 (添付図面 3-3 駐輪場⑤)	

※全体収容台数 338 台 (うち小売店舗用 14 台、従業員用 324 台)

(5) 荷さばき施設の位置及び面積

(変更前)

位 置	面 積
オークワ棟東側 (添付図面 3-1 荷さばき施設①)	88 m ²
ユニクロ棟南側 (添付図面 3-1 荷さばき施設②)	44 m ²
DCM棟西側 (添付図面 3-1 荷さばき施設③)	158 m ²
A棟西側 (添付図面 3-1 荷さばき施設④)	48 m ²
ビジョン棟北側 (添付図面 3-1 荷さばき施設⑤)	24 m ²
合 計	362 m ²

(変更後)

位 置	面 積
オークワ棟東側 (添付図面 3-3 荷さばき施設①-1)	88 m ²
オークワ棟北側 (添付図面 3-3 荷さばき施設①-2)	24 m ²
ユニクロ棟南側 (添付図面 3-3 荷さばき施設②)	44 m ²
DCM棟西側 (添付図面 3-3 荷さばき施設③)	158 m ²
ウエルシア棟西側 (添付図面 3-3 荷さばき施設④)	24 m ²
ビジョン棟北側 (添付図面 3-3 荷さばき施設⑤)	24 m ²
ドコモ棟北側 (添付図面 3-3 荷さばき施設⑥)	24 m ²
ダイソー棟北西側 (添付図面 3-3 荷さばき施設⑦)	24 m ²
合 計	410 m ²

(6) 廃棄物等の保管施設の位置及び容量

(変更前)

位 置	容 量
オークワ棟東側 (添付図面 3-1 廃棄物保管施設①)	49m ³
ユニクロ棟南側 (添付図面 3-1 廃棄物保管施設②)	11m ³
DCM棟西側 (添付図面 3-1 廃棄物保管施設③-1)	23m ³
DCM棟西側 (添付図面 3-1 廃棄物保管施設③-2)	20m ³
A棟西側 (添付図面 3-1 廃棄物保管施設④)	33m ³
合 計	136m ³

(変更後)

位 置	容 量
オークワ棟東側 (添付図面 3-3 廃棄物保管施設①)	12.0m ³
ユニクロ棟南側 (添付図面 3-3 廃棄物保管施設②)	7.4m ³
DCM棟西側 (添付図面 3-3 廃棄物保管施設③-1)	13.0m ³
DCM棟西側 (添付図面 3-3 廃棄物保管施設③-2)	15.4m ³
ウエルシア棟西側 (添付図面 3-3 廃棄物保管施設④)	3.3m ³
ビジョン棟北側 (添付図面 3-3 廃棄物保管施設⑤)	0.6m ³
ドコモ棟北側 (添付図面 3-3 廃棄物保管施設⑥)	0.4m ³
ダイソー棟北側 (添付図面 3-3 廃棄物保管施設⑦)	4.8m ³
合 計	56.9m ³

(7) 駐車場の自動車の出入口の数及び位置

(変更前)

駐車場No.	出入口の数	位 置
平面駐車場	出入口：3ヶ所	敷地北側 (添付図面 3-1 出入口①)
		敷地北側 (添付図面 3-1 出入口②)
		敷地西側 (添付図面 3-1 出入口③)
隔地駐車場①	出入口：1ヶ所	隔地駐車場①敷地北側 (添付図面 3-1 出入口④)
隔地駐車場②	出入口：1ヶ所	隔地駐車場②敷地北側 (添付図面 3-1 出入口⑤)
合 計	5ヶ所	

(変更後)

駐車場No.	出入口の数	位 置
平面駐車場	出入口：3ヶ所	敷地北側 (添付図面 3-3 出入口①)
		敷地北側 (添付図面 3-3 出入口②)
		敷地西側 (添付図面 3-3 出入口③)
合 計	3ヶ所	

3 変更の（する）年月日

- (1) 2 (1) に記載のとおり
- (2) 2 (2) に記載のとおり
- (3) ～ (7) 令和8年11月17日

4 変更する理由

- (1) 2 (1) に記載のとおり
- (2) 2 (2) に記載のとおり
- (3) (7) 隔地駐車場を届出から除外し、実際の駐車需要に基づいた台数を届出するため
- (4) 実際の駐輪需要に基づいた台数を届出するため
- (5) 荷さばき施設の計画を見直したため
- (6) 廃棄物保管施設の計画を見直したため

[2] 大規模小売店舗立地法に基づく添付書類

1 必要な駐車場の収容台数を算出するための来客の自動車の台数等の予測の結果及びその算出根拠

①指針による必要駐車台数計算式

(端数処理：四捨五入)

事項等	各事項算出のための計算式	
地区の区分	商業地区	商業地域
S：店舗面積	12,814 千㎡	
A：店舗面積当たり日来店客数原単位	950 人/千㎡	人口 6.3 万人 S ≥ 5 より
B：ピーク率	14.4%	
L：駅からの距離	1,000m	J R 和歌山線 隅田駅
C：自動車分担率	70.00%	商業地区 人口 6.3 万人 L ≥ 300 より
D：平均乗車人員	2.0 人/台	$1.5 + 0.05 \times S$
E：平均駐車時間係数	1.51	$(65 + 2 \times S) \div 60$
必要駐車台数	866 台	$A \times S \times B \times C \div D \times E$

②併設施設利用者のための駐車台数

併設施設の面積の合計が当該小売店舗の面積の2割以内であるため、指針では概ね小売店舗と同一の来客の利用とされていることから当該小売店舗の必要駐車台数の算出式により算出された必要駐車台数の内数として考えます。(併設施設の面積：385 ㎡ < 小売店舗面積の2割：2,562 ㎡ (12,814 ㎡ × 20%))

③指針による計算式によらない場合

本計画は駐車場の位置及び収容台数の減少の計画です。そのため現状の駐車場の利用状況を調査し、変更後の駐車台数が年間を通じた駐車需要に満足するかの検証を行いました。調査は令和8年1月25日(日)に行い、駐車場のピーク時は15時台の296台となりました。

- ・調査結果：296台(最大滞留台数)
- ・補正值：1.53(年間の最大のレジ客数 ÷ 調査日のレジ客数)
- ・必要駐車台数：453台(296台 × 1.53) ≤ 453台(変更後の収容台数)

変更後の収容台数は駐車需要を満足します。

その他、従業員は共用で298台、専用で31台です。

④駐車場の概要

位置	駐車場構造	収容台数	駐車区画の大きさ	契約形態
平面駐車場	平面自走式	751 台	一般 : 2.5m × 5.0m	借地
			車いす使用者 : 3.5m × 5.0m	
従業員駐車場	平面自走式	31 台	一般 : 2.5m × 5.0m	

2 荷さばき施設において商品の搬出入を行うための自動車の台数及び荷さばきを行う時間帯

	搬出入車両の車種・大きさ	搬出入時間帯	搬出入車両数
荷さばき施設①-1	4 t 超え	午前 6 時～午後 10 時	4 台
	4 t 以下		6 台
	ピーク時の搬出入車両の台数		3 台
荷さばき施設①-2	4 t 以下	午前 6 時～午後 10 時	1 台
	ピーク時の搬出入車両の台数		1 台
荷さばき施設②	4 t 以下	午前 6 時～午後 10 時	1 台
	ピーク時の搬出入車両の台数		1 台
荷さばき施設③	4 t 以下	午前 6 時～午後 10 時	1 台
	ピーク時の搬出入車両の台数		1 台
荷さばき施設④	4 t 以下	午前 6 時～午後 10 時	1 台
	ピーク時の搬出入車両の台数		1 台
荷さばき施設⑤	4 t 以下	午前 6 時～午後 10 時	1 台
	ピーク時の搬出入車両の台数		1 台
荷さばき施設⑥	4 t 以下	午前 6 時～午後 10 時	1 台
	ピーク時の搬出入車両の台数		1 台
荷さばき施設⑦	4 t 以下	午前 6 時～午後 10 時	1 台
	ピーク時の搬出入車両の台数		1 台

3 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測の結果及びその算出根拠

①予測地点の選定及び環境基準

方向	予測地点		用途地域	選定箇所	主な騒音発生源	環境基準	
						昼間	夜間
北側	A	1 階	第一種低層 住居専用地域	道路を挟んだ住居の敷地 境界	自動車走行音 荷さばき作業音	55	45
北側	B	1 階	第一種低層 住居専用地域	道路を挟んだ住居の敷地 境界	自動車走行音 荷さばき作業音	55	45

②昼間の時間帯（6:00～22:00）における等価騒音レベルの予測

方向	予測地点		用途地域	騒音種別			合成値	環境基準
				定常騒音	変動騒音	衝撃騒音		
北側	A	1 階	第一種低層 住居専用地域	44	45	15	47	55
北側	B	1 階	第一種低層 住居専用地域	44	47	19	49	55

予測した結果、環境基準を下回ります。詳細は別冊『騒音予測報告書』を参照。

③夜間の時間帯（22:00～6:00）における等価騒音レベルの予測

夜間の時間帯の変更はありません。

4 必要な廃棄物等の保管施設の容量を算出するための廃棄物等の排出量等の予測の結果及びその算出根拠

①廃棄物等の排出量等の予測

<オークワ棟>

廃棄物種別	店舗面積：S 2,142 m ²		一日当たり 廃棄物排出量 (指針原単位× S)：A	平均保管 日数：B	見かけ比重 ：C	一日当たりの 廃棄物等の 排出予測 A×B÷C
紙製廃棄物 等	6,000 m ² 以下の部分	2.142 千m ²	(0.45 t)	1 日	0.10	4.5m ³
	6,000 m ² 超の部分	千m ²	(t)			
			計 0.45 t			
金属製廃棄物 等	6,000 m ² 以下の部分	2.142 千m ²	(0.01 t)	1 日	0.10	0.1m ³
	6,000 m ² 超の部分	千m ²	(t)			
			計 0.01 t			
ガラス製廃棄物 等	6,000 m ² 以下の部分	2.142 千m ²	(0.01 t)	1 日	0.10	0.1m ³
	6,000 m ² 超の部分	千m ²	(t)			
			計 0.01 t			
プラスチック製廃棄物 等	6,000 m ² 以下の部分	2.142 千m ²	(0.04 t)	1 日	0.01	4.3m ³
	6,000 m ² 超の部分	千m ²	(t)			
			計 0.04 t			
生ごみ等	6,000 m ² 以下の部分	2.142 千m ²	(0.36 t)	1 日	0.55	0.7m ³
	6,000 m ² 超の部分	千m ²	(t)			
			計 0.36 t			
その他の可燃性廃棄物 等		2.142 千m ²	(0.12 t)	1 日	0.38	0.3m ³
合計						10.0m ³
廃棄物等保管施設の計画容量						12.0m ³

指針原単位

紙製廃棄物	: 0.208、	金属製廃棄物	: 0.007
ガラス製廃棄物	: 0.006、	プラスチック製廃棄物	: 0.020
生ゴミ等	: 0.169、	その他可燃性廃棄物	: 0.054

<ユニクロ棟>

廃棄物種別	店舗面積：S 671 m ²		一日当たり 廃棄物排出量 (指針原単位× S)：A	平均保管 日数：B	見かけ比重 ：C	一日当たりの 廃棄物等の 排出予測 A×B÷C
紙製廃棄物 等	6,000 m ² 以下の部分	0.671 千m ²	(0.14 t)	1 日	0.10	1.4m ³
	6,000 m ² 超の部分	千m ²	(t)			
			計 0.14 t			
金属製廃棄物 等	6,000 m ² 以下の部分	0.671 千m ²	(0.00 t)	1 日	0.10	0.0m ³
	6,000 m ² 超の部分	千m ²	(t)			
			計 0.00 t			
ガラス製廃棄物 等	6,000 m ² 以下の部分	0.671 千m ²	(0.00 t)	1 日	0.10	0.0m ³
	6,000 m ² 超の部分	千m ²	(t)			
			計 0.00 t			
プラスチック製廃棄物 等	6,000 m ² 以下の部分	0.671 千m ²	(0.01 t)	1 日	0.01	1.3m ³
	6,000 m ² 超の部分	千m ²	(t)			
			計 0.01 t			
生ごみ等	6,000 m ² 以下の部分	0.671 千m ²	(0.11 t)	1 日	0.55	0.2m ³
	6,000 m ² 超の部分	千m ²	(t)			
			計 0.11 t			
その他の可燃性廃棄物 等		0.671 千m ²	(0.04 t)	1 日	0.38	0.1m ³
合計						3.0m ³
廃棄物等保管施設の計画容量						7.4m ³

指針原単位

紙製廃棄物	: 0.208、	金属製廃棄物	: 0.007
ガラス製廃棄物	: 0.006、	プラスチック製廃棄物	: 0.020
生ゴミ等	: 0.169、	その他可燃性廃棄物	: 0.054

<DCM棟>

廃棄物種別	店舗面積：S 6,554 m ²		一日当たり 廃棄物排出量 (指針原単位× S)：A	平均保管 日数：B	見かけ比重 ：C	一日当たりの 廃棄物等の 排出予測 A×B÷C
紙製廃棄物 等	6,000 m ² 以下の部分	6.000 千m ²	(1.25 t)	1 日	0.10	12.5m ³
	6,000 m ² 超の部分	0.554 千m ²	(0.01 t)			
		6.554 千m ²	計 1.25 t			
金属製廃棄物 等	6,000 m ² 以下の部分	6.000 千m ²	(0.04 t)	1 日	0.10	0.4m ³
	6,000 m ² 超の部分	0.554 千m ²	(0.00 t)			
		6.554 千m ²	計 0.04 t			
ガラス製廃棄物 等	6,000 m ² 以下の部分	6.000 千m ²	(0.04 t)	1 日	0.10	0.4m ³
	6,000 m ² 超の部分	0.554 千m ²	(0.00 t)			
		6.554 千m ²	計 0.04 t			
プラスチック製廃棄物 等	6,000 m ² 以下の部分	6.000 千m ²	(0.12 t)	1 日	0.01	12.2m ³
	6,000 m ² 超の部分	0.554 千m ²	(0.00 t)			
		6.554 千m ²	計 0.12 t			
生ごみ等	6,000 m ² 以下の部分	6.000 千m ²	(1.01 t)	1 日	0.55	1.9m ³
	6,000 m ² 超の部分	0.554 千m ²	(0.01 t)			
		6.554 千m ²	計 1.03 t			
その他の可燃性廃棄物 等		6.554 千m ²	(0.35 t)	1 日	0.38	0.9m ³
合計						28.3m ³
廃棄物等保管施設の計画容量						28.4m ³

指針原単位

紙製廃棄物	: 0.208 (6,000 m ² 以下)、0.011 (6,000 m ² 超)
金属製廃棄物	: 0.007 (6,000 m ² 以下)、0.003 (6,000 m ² 超)
ガラス製廃棄物	: 0.006 (6,000 m ² 以下)、0.002 (6,000 m ² 超)
プラスチック製廃棄物	: 0.020 (6,000 m ² 以下)、0.003 (6,000 m ² 超)
生ゴミ等	: 0.169 (6,000 m ² 以下)、0.020 (6,000 m ² 超)
その他可燃性廃棄物	: 0.054

<ウエルシア棟>

廃棄物種別	店舗面積：S 716 m ²		一日当たり 廃棄物排出量 (指針原単位× S)：A	平均保管 日数：B	見かけ比重 ：C	一日当たりの 廃棄物等の 排出予測 A×B÷C
紙製廃棄物 等	6,000 m ² 以下の部分	0.716 千m ²	(0.15 t)	1 日	0.10	1.5m ³
	6,000 m ² 超の部分	千m ²	(t)			
			計 0.15 t			
金属製廃棄物 等	6,000 m ² 以下の部分	0.716 千m ²	(0.00 t)	1 日	0.10	0.0m ³
	6,000 m ² 超の部分	千m ²	(t)			
			計 0.00 t			
ガラス製廃棄物 等	6,000 m ² 以下の部分	0.716 千m ²	(0.00 t)	1 日	0.10	0.0m ³
	6,000 m ² 超の部分	千m ²	(t)			
			計 0.00 t			
プラスチック製廃棄物 等	6,000 m ² 以下の部分	0.716 千m ²	(0.01 t)	1 日	0.01	1.4m ³
	6,000 m ² 超の部分	千m ²	(t)			
			計 0.01 t			
生ごみ等	6,000 m ² 以下の部分	0.716 千m ²	(0.12 t)	1 日	0.55	0.2m ³
	6,000 m ² 超の部分	千m ²	(t)			
			計 0.12 t			
その他の可燃性廃棄物 等		0.716 千m ²	(0.04 t)	1 日	0.38	0.1m ³
合計						3.3m ³
廃棄物等保管施設の計画容量						3.3m ³

指針原単位

紙製廃棄物	: 0.208、	金属製廃棄物	: 0.007
ガラス製廃棄物	: 0.006、	プラスチック製廃棄物	: 0.020
生ゴミ等	: 0.169、	その他可燃性廃棄物	: 0.054

<ビジョン棟>

廃棄物種別	店舗面積：S 131 m ²		一日当たり 廃棄物排出量 (指針原単位× S)：A	平均保管 日数：B	見かけ比重 ：C	一日当たりの 廃棄物等の 排出予測 A×B÷C
紙製廃棄物 等	6,000 m ² 以下の部分	0.131 千m ²	(0.03 t)	1 日	0.10	0.3m ³
	6,000 m ² 超の部分	千m ²	(t)			
			計 0.03 t			
金属製廃棄物 等	6,000 m ² 以下の部分	0.131 千m ²	(0.00 t)	1 日	0.10	0.0m ³
	6,000 m ² 超の部分	千m ²	(t)			
			計 0.00 t			
ガラス製廃棄物 等	6,000 m ² 以下の部分	0.131 千m ²	(0.00 t)	1 日	0.10	0.0m ³
	6,000 m ² 超の部分	千m ²	(t)			
			計 0.00 t			
プラスチック製廃棄物 等	6,000 m ² 以下の部分	0.131 千m ²	(0.00 t)	1 日	0.01	0.3m ³
	6,000 m ² 超の部分	千m ²	(t)			
			計 0.00 t			
生ごみ等	6,000 m ² 以下の部分	0.131 千m ²	(0.02 t)	1 日	0.55	0.0m ³
	6,000 m ² 超の部分	千m ²	(t)			
			計 0.02 t			
その他の可燃性廃棄物 等		0.131 千m ²	(0.01 t)	1 日	0.38	0.0m ³
合計						0.6m ³
廃棄物等保管施設の計画容量						0.6m ³

指針原単位

紙製廃棄物	: 0.208、	金属製廃棄物	: 0.007
ガラス製廃棄物	: 0.006、	プラスチック製廃棄物	: 0.020
生ゴミ等	: 0.169、	その他可燃性廃棄物	: 0.054

<ドコモ棟>

廃棄物種別	店舗面積：S 89 m ²		一日当たり 廃棄物排出量 (指針原単位× S)：A	平均保管 日数：B	見かけ比重 ：C	一日当たりの 廃棄物等の 排出予測 A×B÷C
紙製廃棄物 等	6,000 m ² 以下の部分	0.089 千m ²	(0.02 t)	1 日	0.10	0.2m ³
	6,000 m ² 超の部分	千m ²	(t)			
			計 0.02 t			
金属製廃棄物 等	6,000 m ² 以下の部分	0.089 千m ²	(0.00 t)	1 日	0.10	0.0m ³
	6,000 m ² 超の部分	千m ²	(t)			
			計 0.00 t			
ガラス製廃棄物 等	6,000 m ² 以下の部分	0.089 千m ²	(0.00 t)	1 日	0.10	0.0m ³
	6,000 m ² 超の部分	千m ²	(t)			
			計 0.00 t			
プラスチック製廃棄物 等	6,000 m ² 以下の部分	0.089 千m ²	(0.00 t)	1 日	0.01	0.2m ³
	6,000 m ² 超の部分	千m ²	(t)			
			計 0.00 t			
生ごみ等	6,000 m ² 以下の部分	0.089 千m ²	(0.02 t)	1 日	0.55	0.0m ³
	6,000 m ² 超の部分	千m ²	(t)			
			計 0.02 t			
その他の可燃性廃棄物 等		0.089 千m ²	(0.00 t)	1 日	0.38	0.0m ³
合計						0.4m ³
廃棄物等保管施設の計画容量						0.4m ³

指針原単位

紙製廃棄物	: 0.208、	金属製廃棄物	: 0.007
ガラス製廃棄物	: 0.006、	プラスチック製廃棄物	: 0.020
生ゴミ等	: 0.169、	その他可燃性廃棄物	: 0.054

<ダイソー棟>

廃棄物種別	店舗面積：S 1,033 m ²		一日当たり 廃棄物排出量 (指針原単位× S)：A	平均保管 日数：B	見かけ比重 ：C	一日当たりの 廃棄物等の 排出予測 A×B÷C
紙製廃棄物 等	6,000 m ² 以下の部分	1.033 千m ²	(0.21 t)	1 日	0.10	2.1m ³
	6,000 m ² 超の部分	千m ²	(t)			
			計 0.21 t			
金属製廃棄物 等	6,000 m ² 以下の部分	1.033 千m ²	(0.01 t)	1 日	0.10	0.1m ³
	6,000 m ² 超の部分	千m ²	(t)			
			計 0.01 t			
ガラス製廃棄物 等	6,000 m ² 以下の部分	1.033 千m ²	(0.01 t)	1 日	0.10	0.1m ³
	6,000 m ² 超の部分	千m ²	(t)			
			計 0.01 t			
プラスチック製廃棄物 等	6,000 m ² 以下の部分	1.033 千m ²	(0.02 t)	1 日	0.01	2.1m ³
	6,000 m ² 超の部分	千m ²	(t)			
			計 0.02 t			
生ごみ等	6,000 m ² 以下の部分	1.033 千m ²	(0.17 t)	1 日	0.55	0.3m ³
	6,000 m ² 超の部分	千m ²	(t)			
			計 0.17 t			
その他の可燃性廃棄物 等		1.033 千m ²	(0.06 t)	1 日	0.38	0.1m ³
合計						4.8m ³
廃棄物等保管施設の計画容量						4.8m ³

指針原単位

紙製廃棄物	:0.208、	金属製廃棄物	:0.007
ガラス製廃棄物	:0.006、	プラスチック製廃棄物	:0.020
生ゴミ等	:0.169、	その他可燃性廃棄物	:0.054

指針配慮事項編

1 駐車場の計画

①交通への支障を回避するための方策等

交通への支障回避の方策	具体的な内容
交通整理員の配置	繁忙期に利用状況に応じて駐車場出入口に交通整理員を配置します。

②その他の駐車場の状況

[従業員等（業務用を含む）駐車場]

事項	有無の別	当該小売店舗駐車場と共用・別途の別	収容台数	備考 (駐車台数算定の根拠等)
従業員駐車場	有	共用	298 台	—
		別途	31 台	
合計			329 台	

2 荷さばき施設の計画

①荷さばき施設の面積・構造

荷さばき施設No.	同時作業の可能な台数		待機スペースの有無・広さ	防音等の対応
	想定する車両の大きさ	台数		
荷さばき施設①-1	10 t	3 台	無	荷さばき施設スペースを十分確保し、作業時間の短縮化を図ります。
荷さばき施設①-2	4 t	1 台	無	
荷さばき施設②	4 t	2 台	無	
荷さばき施設③	4 t	3 台	無	
荷さばき施設④	4 t	1 台	無	
荷さばき施設⑤	4 t	1 台	無	
荷さばき施設⑥	4 t	1 台	無	
荷さばき施設⑦	4 t	1 台	無	

②搬出入車両の出入口の数

荷さばき施設No.	専用出入口の有無	搬出入車両の出入り口の数	対応等
すべての荷さばき施設	無	—	※

※当該店舗の敷地外周には荷さばき・廃棄物収集・従業員車両のみ通行する外周道路があります。荷さばき車両等の専用出入口はありませんが、荷さばき施設①-1、荷さばき施設②、荷さばき施設③、荷さばき施設④については、入場後はこの外周道路を通行することにより来客車両との分離を図ります。

3 騒音対策

① 荷さばき施設及び作業にかかる騒音対策の概要

項目	具体的な騒音対策の内容
荷さばき施設の騒音対策	荷さばき施設スペースを十分確保し、作業時間の短縮化を図ります。
荷さばき作業の騒音対策	荷さばき作業時間を特定し、アイドリング禁止の徹底を図ると同時に作業員への騒音防止意識を徹底します。

② BGM等の営業宣伝活動の予定

BGM等の使用
有→音が外部に漏れないようにします。

③ 冷却塔、冷暖房設備の室外機又は送風機等の規模・能力・騒音レベル等

項目	設置の有無	騒音対策等
冷却塔	無	—
冷暖房設備	有	低騒音型の機器を採用します。
送風機	有	

④ 駐車場の施設構造と騒音対策の概要

運用面の騒音対策
看板等を敷地内に適宜配置し、場内走行の円滑化、徐行運転及びアイドリングストップを促します。

⑤ 廃棄物収集作業にかかる騒音対策の概要

廃棄物回収場所の構造	回収時間帯	運用面の騒音対策
—	午前6時～午後10時	深夜・早朝の回収は行いません。

4 廃棄物等の保管場所の計画

① 廃棄物保管施設の計画

No.	容量	面積	排出方法	洗浄設備	冷蔵設備等の有無	附属設備の概要
保管施設①	12.0m ³	12.0 m ²	店舗従業員による	有	有	—
保管施設②	7.4m ³	7.4 m ²		無	無	—
保管施設③-1	13.0m ³	6.8 m ²		無	無	—
保管施設④	3.3m ³	2.2 m ²		無	無	—
保管施設⑤	0.6m ³	0.6 m ²		無	無	—
保管施設⑥	0.4m ³	0.4 m ²		無	無	—
保管施設⑦	4.8m ³	3.2 m ²		無	無	—
合計	41.5m ³	33.6 m ²				

②リサイクル品（再生利用対象物）保管施設の計画

No.	容量	面積	附属設備の概要	備考
保管施設③-2	15.4m ³	11.0 m ²	—	—

7 廃棄物等の運搬・処理計画

①廃棄物等の運搬方法・処理方法

項目	紙製廃棄物等	生ごみ等・その他の可燃性廃棄物等	その他
運搬の方法	業者委託	業者委託	業者委託
	収集車の種類 (パッカー車)	収集車の種類 (パッカー車)	収集車の種類 (トラック)
予定業者等	リサイクル業者	許可業者	許可業者
運搬の頻度	1日1回	1日1回	1日1回
処理の方法	敷地外処理	敷地外処理	敷地外処理

廃棄物の保管、処理等に関する添付資料

<設置者>

氏名又は名称 : ①株式会社オークワ

②DCM株式会社

住所又は所在地 : ①和歌山県和歌山市中島 185 番地の 3

②東京都品川区南大井六丁目 22 番 7 号

<店舗施設>

名 称 : オー・ストリート橋本彩の台

所在地 : 和歌山県橋本市あやの台一丁目 50 番 3 外

1 廃棄物の保管に関すること

項 目	対 象 の 内 容 等
周囲の囲い	■有 ・ □無
保管場所に係る掲示板	■有 ・ □無
飛散、流出、地下浸透、 悪臭等の防止	悪臭・汚水の発生するおそれのある廃棄物はビニール等で密閉保管して臭気の発生を抑制します。また廃棄物保管施設は毎日清掃し、臭気の発生を抑制します。
害虫（ねずみ、蚊、はえ その他）の発生防止	廃棄物保管施設は毎日清掃し、清潔にすることにより害虫の発生を防止します。
収集、運搬に伴う悪臭 騒音、振動等に対する 必要な措置	作業員に騒音防止の意識の指導徹底を行います。

2 廃棄物の処理に関すること

項 目	対 象 の 内 容 等
排出の抑制方針	従業員に廃棄物の減量化、分別・リサイクルの徹底を実施します。
廃棄物の分別方針	廃棄物保管施設内で置場を分け、分別保管します。
廃棄物の再生利用方針	ダンボールを中心にリサイクルに取り組みます。
一般廃棄物の処理予定	
収集運搬	□自社処理 ・ ■委 託
中間処理	□自社処理 ・ ■委 託
再生利用	□自社処理 ・ ■委 託
最終処分	□自社処理 ・ ■委 託

3 リサイクル推進等の取り組み

項 目	対 象 の 内 容 等
①ごみの減量	
過剰包装の自粛	簡易包装とし、不必要な包装は行いません。
マイバッグ運動の推進	容器包装リサイクル法に基づき、レジ袋の有料化となるため、マイバックをお持ちいただくよう案内します。
使い捨て容器及び製品の使用自粛	特にありません。
詰め替え商品の販売、促進	詰め替え商品を積極的に販売します。
②再使用	
リターナブルびん商品（びんビール等）の販売促進	特にありません。
販売員による修理、下取りの推進	特にありません。
③リサイクル推進	
牛乳パック、食品トレイ等の回収実施	
再生品、エコ商品の販売促進	特にありません。
④その他	
従業員に対するごみ減量及びリサイクル推進に関する教育及び研修の実施	バックヤード等の従業員スペースにはゴミ箱を複数設置し、分別・リサイクルの意識向上を促し、指導・徹底します。
消費者に対するごみ減量及びリサイクル推進の呼びかけ	特にありません。

4 廃棄物の詳細

廃棄物の種類	具体的な排出物	排出元	廃棄物処理方法
紙製廃棄物等	ダンボール	梱包材	市町村の委託業者 許可業者（一般廃棄物・産業廃棄物） 自販機設置業者 リサイクル回収業者 自社搬入 その他（ ）
金属製廃棄物等	アルミ缶 スチール缶	来客及び従業員の飲食 来客及び従業員の飲食	市町村の委託業者 許可業者（一般廃棄物・産業廃棄物） 自販機設置業者 リサイクル回収業者 自社搬入 その他（搬入業者）
ガラス製廃棄物等	瓶	来客及び従業員の飲食	市町村の委託業者 許可業者（一般廃棄物・産業廃棄物） 自販機設置業者 リサイクル回収業者 自社搬入 その他（搬入業者）
プラスチック製廃棄物等	ペットボトル	来客及び従業員の飲食	市町村の委託業者 許可業者（一般廃棄物・産業廃棄物） 自販機設置業者 リサイクル回収業者 自社搬入 その他（搬入業者）
生ごみ等		食材調理 来客及び従業員の飲食	市町村の委託業者 許可業者（ <u>一般廃棄物</u> ・産業廃棄物） 自販機設置業者 リサイクル回収業者 自社搬入 その他（ ）
その他の可燃性廃棄物等	書類等		市町村の委託業者 許可業者（ <u>一般廃棄物</u> ・産業廃棄物） 自販機設置業者 リサイクル回収業者 自社搬入 その他（ ）

参考事項編

1 店舗施設計画の概要

(1) 駐輪場の計画

①駐輪場の構造、収容台数及び面積

駐輪場No.	駐輪場構造	収容台数 (うち三輪車 バイク用)	面積	駐輪区画の大きさ	
				一般用	原付用
駐輪場①	平面式	24 台	24 m ²	2.0m×0.5m	—
駐輪場②	平面式	49 台	49 m ²	2.0m×0.5m	—
駐輪場③	平面式	141 台	141 m ²	2.0m×0.5m	—
駐輪場④	平面式	78 台	78 m ²	2.0m×0.5m	—
駐輪場⑤	平面式	46 台	46 m ²	2.0m×0.5m	—
合計		338 台	338 m ²		

②駐輪場台数の予測の結果と算出根拠

本計画は駐輪場の収容台数の減少の計画です。そのため現状の駐輪場の利用状況を調査し、変更後の駐輪台数が年間を通じた駐輪需要に満足するかの検証を行いました。調査は令和 8 年 1 月 25 日（日）に行い、駐輪場のピーク時は 16 時台の 9 台となりました。

- ・調査結果：9 台（最大滞留台数）
- ・補正值：1.53（年間の最大のレジ客数÷調査日のレジ客数）
- ・必要駐輪台数：14 台（9 台×1.53）≤14 台（変更後の収容台数）

変更後の収容台数は駐輪需要を満足します。

その他、従業員用を共用で 324 台です。

③駐輪場の管理体制

項目	
整理員の配置	店舗従業員が適宜巡回し整理・整頓に努めます。

④駐輪場の案内の表示方法

敷地内に駐輪場の看板を設置します。

2 産業廃棄物に関する配慮事項

別紙参照

産業廃棄物に関する添付資料

1 廃棄物等の保管施設の容量を算出するための廃棄物等の予測の結果及びその算出根拠

①廃棄物等の排出量等の予測

(端数処理：四捨五入)

廃棄物種別	店舗面積 : S	一日当たり 廃棄物排出量 (指針原単位×S) : A	平均保管日数 : B	見かけ比重 : C	一日当たりの 廃棄物等の 排出予測量 A×B÷C
金属製 廃棄物等	12.814 千m ²	0.06 t	1 日	0.10	0.6m ³
ガラス製 廃棄物等	12.814 千m ²	0.05 t	1 日	0.10	0.5m ³
プラスチック 製廃棄物等	12.814 千m ²	0.14 t	1 日	0.01	14.0m ³
合計					15.1m ³

見かけ比重の根拠等 大規模小売店舗立地法指針

2 廃棄物等減量化についての計画

廃棄物減量化の予定及び概要
特にありません

3 廃棄物の保管

項目	対応の内容等
保管施設	面 積 (37.8 m ²) 周囲の囲い (■有・□無)
保管場所	掲 示 板 (■有・□無)
飛散・流出、地下浸透、悪臭等の防止	悪臭・汚水の発生するおそれのある廃棄物はビニール等で密閉保管して臭気の発生を抑制します。また廃棄物保管施設は毎日清掃し、臭気の発生を抑制します。
害虫(ねずみ、蚊、はえ、その他)の発生防止	保管施設は毎日清掃し、清潔にすることにより害虫の発生を防止します。
収集、運搬に伴う悪臭騒音、振動等に対する必要な措置	作業員に騒音防止の意識の指導徹底を行います。

4 廃棄物の処理

項目	対応の内容等
排出の抑制方針	各テナントに減量化の指導を実施します。
廃棄物の分別方針	専用容器にて保管します。
産業廃棄物の処理予定	
収集運搬	<input type="checkbox"/> 自社処理 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 委託
中間処理	<input type="checkbox"/> 自社処理 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 委託
再生利用	<input type="checkbox"/> 自社処理 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 委託
最終処分	<input type="checkbox"/> 自社処理 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 委託